

# きれい 甲斐

No.75 DECEMBER 2016

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。

環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみならずのご入会をお待ちしています。

## 環境パートナーシップやまなし

事務局 ●〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1丁目6-1 山梨県森林環境総務課内  
TEL.055-223-1657 FAX.055-223-1636 ✉sinkan-som@pref.yamanashi.lg.jp  
ホームページ [パートナーシップやまなし](#) [検索](#)



古紙配合率100%再生紙を使用しています

発行責任者 ●企画委員長 河野行秀

## やまなし環境活動推進ネットワーク フォーラムのご案内

環境パートナーシップやまなしでは、「やまなし環境活動推進ネットワークフォーラム」を（公財）やまなし環境財団と合同で開催します。

このネットワークフォーラムは、県内で環境保全に向けた活動を行っている個人・団体・企業等による活動発表を通じて、より多くの人たちが実践できる具体的な方法を考え合い、課題の解決に取り組んでいく機会とするとともに、参加者相互の情報交流とネットワークづくりの推進を図ることを目的としています。

当日は、（公財）やまなし環境財団の若宮賞の表彰式を行うほか、環境教育・自然保護を推進している団体や企業から、現在の活動内容や今後の活動方針、活動にあたっての課題などについて発表していただきます。その後、「新たな環境活動への第一歩 持続可能な社会をめざして」をテーマに、各団体及び参加者が相互に交流を深めることを目的としたポスターセッション※を行います。

「ネットワークを広げたい」、「各団体の活動内容を知りたい」、「他の団体と一緒に活動を行いたい」という方、環境に興味をお持ちの方など、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

- ◆日時 平成29年1月29日（日） 午後1時～4時（受付は12時30分から）
- ◆会場 ぴゅあ総合（男女共同参画推進センター）甲府市朝気1-2-2 電話055-235-4171
- ◆参加費 無料
- ◆主催 環境パートナーシップやまなし、（公財）やまなし環境財団

### プログラム

- やまなし環境財団「若宮賞」表彰式・感謝状贈呈式 【午後1時～1時30分】
- リレートーク・ポスターセッション 【1時30分～4時30分】

#### リレートーク発表団体

- ①NPO法人日本釣り環境保全連盟 ②日本野鳥の会甲府支部
- ③リサイクル推進ネットワーク ひまわり

※ポスターセッション：参加者が自由に見て回れるようにポスターを掲示、その脇に発表者が待機し、ポスター内容の質疑応答や情報提供を行います。そのことにより、発表者と参加者の間で情報共有を行うとともにアイデアの交換等ができます。

#### 参加申込

参加希望者は、住所、氏名を記載した申込書（様式自由）を下記事務局あてに送付（FAX・E-mail可）してください。

- 【申込先】 環境パートナーシップやまなし事務局  
TEL：055-223-1657 FAX：055-223-1636  
E-mail sinkan-som@pref.yamanashi.lg.jp  
〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 山梨県森林環境部森林環境総務課内
- 【申込締切】 平成29年1月20日（金）

※ 駐車台数に限りがありますので、お車をご利用の方は、できるだけ乗り合わせてお越しくくださいますようご協力をお願いします。



## 県民の日記念行事に出展しました

11月12日、13日の両日、小瀬スポーツ公園で開催された「県民の日記念行事」に環境パートナーシップやまなしが出展しました。

環境広場に設置した環境パートナーシップやまなしのブース内では、両日にかけて「エコライフお絵かき・川柳コンテスト2016」の入賞作品を展示するとともに、環境活動に関する普及啓発を行いました。

環境パートナーシップやまなしのブースの隣では、(公財)やまなし環境財団が、中学生以下を対象に自分だけのマイバッグを作る「マイバッグお絵かき大会」を開催し、行列ができるほど子どもたちに人気がありました。



ブースの様子



入賞作品の展示



お絵かき大会の様子

## エコライフお絵かき・川柳コンテスト2016の表彰式を実施しました

「エコライフお絵かき・川柳コンテスト」の表彰式を、11月13日(日)11時から、県民の日の会場において開催しました。

当日は小春日和の温かな日差しに包まれ、ご家族や多くの来場者が見守る中、最初は緊張した面持ちだった受賞者の皆様でしたが、授与後は思わず笑顔がこぼれていました。

式の冒頭に、主催者代表の中澤副会長から、「エコライフの絵を描くことで学んだことを、家族や友達と一緒に広めていってほしい」と挨拶がありましたとおり、この取り組みをきっかけにエコライフの輪が広がっていく、そんな期待にあふれた表彰式でした。



冒頭、中澤副会長から挨拶がありました



賞状授与の様子



出席者が150名を超す大規模な表彰式となりました

## ゴミ持ち帰りパレードを行いました

県民の日記念行事が、ゴミの出ないイベントとなるように、ゴミ持ち帰りのためのキャンペーンとして、両日とも午後2時から約30分、ゴミの持ち帰りパレードを行いました。2日間で延べ80名の方が参加して、手作りのプラカードや横断幕を持ちながら来場者にごみの持ち帰りやごみの減量などを呼びかけました。

今年は、パルシステム山梨のこんせんくん、(公社)やまなし観光推進機構の武田菱丸、山梨県のモックくん、笛吹市のフッキー、甲府昭和高校のトライスなど、多くのキャラクターもパレードに参加し、注目度も抜群でした。



ゆるキャラにも協力してもらいました



参加した皆様と記念撮影

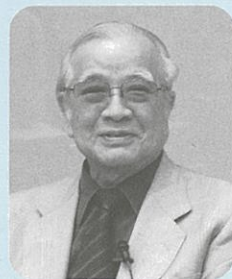


延べ80名の方が参加しました

# コラム COLUMN

## 歳時記に富士を探して

阿刀田 高



俳句を創ることはないのだが、歳時記はいつも手近かに置いてある。三種類もあって、仕事部屋の本棚、居間の片隅、そしてトイレにもある。なんとなくページを開いて言葉の群れの中に季節を探すのが好きなのだ。

新年は昼間からアルコールを口にすることが多く、ほろ酔い加減で歳時記をながめる。

—ああ、そうか、山梨県へ勤めるようになって、やっぱり富士山かな—

しかし富士山そのものは季語にはないみたい。一年中ドーンと構えて、さまざまな姿を見せているのだから、特に“この季節に”ということはないのだろう。オール・シーズンの存在なのだ。

そこで索引で富士を調べてみた。

ありました、ありました。

### この道の富士になりゆく芒(すすき) かな

河東碧梧桐の作である。写実を重んじた俳人にふさわしい。すすきかどうかはともかく枯野のむこうに道遠く富士の姿、そのさらにむこうに青い空、絵画的な美しさだ。

### 富士に傍(そう)て三月七日八日かな

式楼賦(いちろうのふ)という作者は知らないが、東海道を下り、ゆっくりと、二日もかけて春の富士を眺める旅を詠んだらしい。

ほかにももっと名句があるにちがいない。歳時記を見る楽しみがまた一つ増えた。

### Profile プロフィール

作家、小説家。

昭和10年東京生まれ。

早稲田大学第一文学部フランス文学科卒業後、国立国会図書館で司書として11年間勤務する。

図書館勤務中から執筆活動を続け、昭和53年『冷蔵庫より愛をこめて』でデビュー。

昭和54年『来訪者』で第32回日本推理作家協会賞、同年短編集『ナポレオン狂』で第81回直木賞受賞。平成7年『新トロイア物語』で第29回吉川英治文学賞受賞。

その他、『短編小説のレシピ』『旧約聖書を知っていますか』など著書多数。

最近の著作に『アンブラッセ』(文藝春秋 2015年1月)、『地下水路の夜』(新潮社 2015年4月)、『妖しい関係』(幼冬舎文庫 2016年8月)がある。

国語政策への貢献に対して、平成15年紫綬褒章、平成21年旭日中綬章受章。

平成19年から平成23年まで日本ペンクラブ会長を務める。

平成24年4月に山梨県立図書館館長就任。

平成26年4月に新田次郎記念会理事長就任。

## ●投稿募集中

### 【会員紹介コーナー】

①A5判程度で、原稿と写真等を入れて構成してください。②団体等の名称、所在地(事務局または事務所)、連絡先を必ずお書きください。③内容は、活動紹介やPRなど自由です。④締め切りは特にありません。

### 【行事予定】

○主催団体名、日時、場所、内容、申込み方法、連絡先等をお教えてください。

# 「富士を世界に拓く」の創業精神で 環境保全活動

富士急行株式会社

富士急行は、「富士を世界に拓く」という創業精神のもと、運輸、不動産、レジャー・サービス等の事業を行い、今年で90周年を迎えました。今後も当社の事業エリアである富士山エリアを、世界に冠たるリゾートエリアとしていくとともに、地域社会への貢献、自然環境への配慮など、企業の社会的責任を果たしてまいります。

## 【環境保全活動教育】

富士急グループでは、富士山の自然保護活動の一環として、新入社員による富士登山および美化活動を行っています。この活動は、平成4年より行っており、本年で24回目を迎え、延べ434名が参加しました。

また、社員の環境教育の一環として、地元里山の荒廃した森林の整備、鹿の食害を防止するための枝打ちや麻テープの巻き付けの実施、各種団体主催の清掃活動への参加など、自然環境を守り育てることの大切さを学んでいます。



富士山清掃登山

## 【環境にやさしい公共交通機関へ】



富士スバルラインを走るCNGバス

平成7年に、低公害CNG（圧縮天然ガス）バスを全国の国立公園内では初めて、富士山の麓を走る富士スバルライン、富士スカイラインへそれぞれ導入しました。また、平成28年8月に、山梨県が初めての「山の日」を記念し、両道路を通行する自動車から排出されるCO2吸収・削減の環境意識啓発を目的に行った「山の日カーボン・オフセット キャンペーン」に参加・協力しました。

その他、ハイブリッドバス、EVタクシーの導入など、公共交通機関として継続的に環境に配慮した事業を展開しています。

## 【自然環境と共生した観光事業を】

平成3年、世界的な名峰であるスイスマッターホルンの麓を走るマッターホルン・ゴットアルド鉄道と姉妹鉄道提携し、本年で25周年を迎えました。

マッターホルン・ゴットアルド鉄道の車窓からは、絵のように美しいスイスの谷あいの風景が眺められ、訪れた人たちの心を和ませます。また、ツェルマットは環境に配慮し、ガソリン車乗り入れ禁止のリゾートで、静かな環境と清らかな空気が保たれています。

当社では、定期的に職員を派遣し、環境への取り組みなどの研修を受け、人的交流・技術交流を図っています。



マッターホルン・ゴットアルド鉄道

[ホームページ](#)

[富士急行](#)

[検索](#)

## お知らせ

「きれい甲斐」は、送付方法を①郵送、②メール配信、③県ホームページからダウンロードの3種類から選択できます。現在の送付方法から変更を希望される方は、事務局までご連絡ください。

環境パートナーシップやまなし事務局（県森林環境総務課内）

TEL：055-223-1657/FAX：055-223-1636 E-mail:sinkan-som@pref.yamanashi.lg.jp